

はじめに

2009年に『トピック別 英作文頻出表現活用ハンドブック』を出版してから10年以上が経過し、大学入試や資格試験のライティングで求められる語彙・表現も大きく変わりました。そこで、重要表現は残しつつも、最近のライティング問題をあらためて調査して、9割近くの語彙や表現を入れ替えたアップデート版を書名を変えてここにお届けします。

本書の特色は以下のとおりです。

1 そのまま使えて応用できるフレーズの形で掲載 (Part 1)

英語表現の中心となるのは名詞ですが、名詞を単独で載せるのを極力避け、《動詞＋名詞》、《形容詞＋名詞》といった、相性のよい語句(コロケーション)を添えて、実際の文中ですぐ活用できるフレーズや文の形で載せています。

また、ディベート的なトピックでは、“Pros & Cons”(「賛否両論」の意味)と題して、そのまま賛成意見、反対意見の理由となるような表現を整理し、自由英作文のネタ集としても使えるようにしました。

2 「書く」ために必要な文法解説を充実 (Part 2～5)

本書の最大の特徴は、単なる「トピック別の語彙リスト」に終わらないよう、英文を書く際に役立つ資料を充実させたことにあります。以下のように、どれもオリジナリティーあふれた、読んで役立つものばかりです。

- Part 2 受験生の苦手な「グラフ説明問題」や「数量表現」、さらに「語句の定義・説明問題」などへの対策も解説
- Part 3 英文を書く際に間違いやすい基本文法事項をくわしく解説
- Part 4 英文を書く上で知っておくと役立つアイデアの数々を紹介
- Part 5 自由英作文に取り組む上でのちょっとした秘訣を公開

3 英語学習に役立つ配慮

これまでの受験生の答案の添削経験を活かし、誤りやすいスペリング、語法上犯しやすい誤り等、注意すべき点をフレーズの最後に注記の形で添えてあります。

なお、旧版の『ハンドブック』になかった試みとして、日本語のキーとなる語句を青文字にし、英訳中の対応部分も青字にすることで、和英の対応をいっそうわかりやすくしました。

また、各トピックの最初には、その話題について英語で書く上で必須となる語句をまとめて掲載し、使い勝手をよくしました。なお、本文中のすべての英文は、日本語にも堪能なChristopher Barnard先生にいていないにチェックしていただきました。

4 ライティング試験に特化し語彙を厳選

このタイプの表現集は関連表現を欲張って載せていくと掲載語数がどんどん増えて「小型和英辞典」化してしまい、かえって学習者の負担が大きくなってしまいます。

そこで今回の改訂ではいたずらに語彙数を増やすことは避け、『ハンドブック』で扱った項目の中で、もはや現在のライティング試験では不要だと思われる語句を思い切って削り、その分のスペースを、単語をフレーズや文の形にして長くすることに使いました。その結果、表向きの項目数は減りましたが、載っている1つ1つの項目を実用性の高い形に進化させることができました。

本書がみなさんの表現力向上のお役に立てば幸いです。

2021年冬

田上 芳彦